

公認クロスカントリーバジジテスト基準及び実施要領の改正について（2020.10月）

加盟団体（都道府県、学連）主催の競技選手権大会、（例、北海道スキー選手権）において、下記条件を満たした場合、2級及び1級の受験資格を取得できるようになりました。今後、この制度の活用を進め、生涯スポーツとしての普及拡大につながる事を期待しております。受験者が競技生活期間中に資格を得る事により、選手引退後、健康、生涯スポーツの普及のための指導員資格を目指していただける合理的な制度です。

公益財団法人全日本スキー連盟 教育本部長 栗林 繁幸

記

加盟団体主催の選手権大会における資格取得について

（S A J 規程 5 4 7 公認クロスカントリーバジジテスト基準及び実施要領より要旨抜粋）

2 級受検

- ① 受検申請
- ② 該当大会は加盟団体主催の選手権大会とする。
（選手権を兼ねない高校大会、国体予選会等は除く）
- ③ 5k 以上完走後、主管団体にリザルト添付し 2 級申請する。
- ④ 主管の加盟団体は審査して 2 級合格を認めることができる。

1 級受検

- ① 前年度までの 2 級合格者が受検申請
- ② 該当大会は 2 級と同じ
- ③ クラシカル、フリー両種目で 5k 以上を完走後主管団体にリザルトと検定員 1 名の検定員証明書添付し申請する。
- ④ 主管の加盟団体は審査して 1 級合格を認めることができる。

5 4 7 公認クロスカントリースキーバジジテスト基準及び実施要領

10 本連盟加盟団体主催の選手権大会（県高校大会や国体予選会は含まない）において、前年までに 2 級を合格した者で、クラシカル、フリー両種目において 5k m 以上を完走した者は、主管加盟団体に当該大会のリザルト及び検定員 1 名の検定証明書を添付し、1 級を申請することができる。主管加盟団体はそれを審査し、1 級合格を認めることができる。

また、5k m 以上を完走した者は、主管団体に当該大会のリザルトを添付し 2 級を申請することができる。主管加盟団体はそれを審査し 2 級合格を認めることができる。

以上